（様式第３号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	サンヨーグループ行動基準マニュアルに人権尊重･差別の禁止を明言している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2			【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	サンヨーグループ行動基準マニュアルにセクシャルハラスメント及びパワーハラスメントの根絶を明言している。またハラスメント関する規定がある。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3			【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	毎月、時間外勤務を集計し、各部署長に発信し、部内で時間外勤務の多い社員には注意喚起を所属長から行っている。								8.5 8.8									
4			【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	外国人の雇用は無し。人権の尊重については行動基準マニュアルに明言されている。現在、外国人の雇用は無し				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5			【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	安全衛生管理規則がある。安全衛生委員会があり、毎月の会議と、職場の巡視を行い、危険個所、作業を発見した際は議題に上げ、改善している。またヒヤリハット活動も行っている。			3					8									
6			【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	年1回健康診断に合わせてメンタルヘルスチェックを実施している。またその結果を産業医先生に確認して頂いている。			3														
7			【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	育児介護休業規定、私傷病のための休業、育児介護休業の際に使用出来る有給休暇積立制度がある。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8			【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	各部で教育計画、スキルマップを作成し、従業員教育を実施している。				4	5.5			8	9								
9			【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	法令に従って行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10			【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	年1回定期健康診断を実施。また有機溶剤取扱者は健康診断の他にも有機溶剤取扱者の健康診断、更に二交替勤務者は産業医の健康診断を受診させるようにしている。屋内にあった喫煙室を廃止し、屋外一か所に喫煙室を設置するように計画している。1月下旬設置予定			3					8									
11	環境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	ISO14001の活動の一つとして取り組みを行っている。また県の地方事務所に毎年報告を行っている。											11.6	12.4		14.1			
12			【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	ISO14001の活動の一つとして取り組みを行っている。また県の地方事務所に毎年報告を行っている。							7.3						13				
13			【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	ISO14001の活動の一つとして取り組みを行っている。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14			【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	法令で指定されている化学物質の取り扱いについては施錠管理、使用量管理を行い把握している。SDSも取り寄せている。			3.9			6.3					11.6	12.4					
15			【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	環境方針に株式会社長野サンヨーフーズは、緑豊かな地球環境の保全、周辺環境並びに千曲川水系の生態系保全に配慮し、顧客･住民･従業員から信頼される事業者として行動します。を明言している。						6.6									15		
16			【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	ISO14001の活動の一つとして分別廃棄を行っている。また食物残差や排水処理場からの汚泥は最終処分場にてたい肥化されている。												12.5		14.1			
17			【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	ISO14001の活動の一つとして使用量の削減に関する取り組みを行っている。						6.4 6.6											

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18			【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	ISO14001を取得している。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19			【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	環境方針を社内掲示、社員にポケット版を配布している。また自社のホームページにも掲載している。												12.6					
20			【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ								7.2						13				
21			【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ													12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	サンヨーグループ行動基準マニュアルに寄付行為･政治献金規制、接待･贈答として明言している。																16 16.5	
23			【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	サンヨーグループ行動基準マニュアルに不正競争の防止を明言している。																16	
24			【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	サンヨーグループ行動基準マニュアルに知的財産権の保護を明言している。								8.2 8.3	9								
25			【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	サンヨーグループ行動基準マニュアルにプライバシーの保護を明言している。																16	
26			【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	該当なし																16	
27			【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	経営理念「お客様からの信頼」「地域社会からの信頼」「従業員からの信頼」を3本柱とし、審議誠実の原則に則り、法令及び健全な商慣習を遵守し誠実な取引を行う。また社会貢献活動に積極的に取り組み、社会･地域と共生し、健全かつ正常な関係を維持し、反社には毅然とした行動をとることを行動基準マニュアルに明言している。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	製品・サービス		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	FSSC22000、総合衛生管理製造過程を取得し、構築している。			3.9									12.4					
29			【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	FSSC22000、総合衛生管理製造過程を取得し、構築している。									9								
30			【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	野菜など、一部ではあるが、廃棄物が少なくなる様な工程設計をした製品がある。						6						12	13	14	15		
31			【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	該当なし	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

		非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	地域貢献・社会貢献		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	騒音測定を年2回実施している。また排水処理場からの異臭に関する対策も行っている。近隣の方々には、苦情などの受付先(休日含む)の案内を配布している。				4					9		11	12		14	15		17
33			【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	地域のお祭り、赤い羽根募金などへ寄付を行っている。また年4回地域の美化活動を実施している。				4							11			14	15		17
34			【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	県産のセロリ、キャベツ、レタス、巨峰などを原料とし製品を生産している。								8	9		11	12	13				
35	組織体制		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	食堂に掲示している。また全体会議の際には社員全員で復唱している。								8	9								17
36			【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	サンヨーグループ行動基準マニュアルに法令順守を明言している。またISO14001の取り組みで年2回遵守確認を実施している。																16	
37			【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	コンプライアンス委員会を設置している。コンプライアンス委員の構成員や役割については行動基準マニュアルに記載されている。																16	
38			【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	常会の方々へ「株式会社長野サンヨーフーズ緊急時の連絡体制」を配布し、騒音・異臭・流出等の環境に関わる事項や、人災事故・火災等の災害に関わる事項が休日であっても連絡が取れる様にしている。																16	17
39			【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	ISO14001の活動でリスクを抽出している。また組織の強み、弱み、脅威、機会なども抽出している。																16	
40			【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	サンヨーグループ行動基準マニュアルに明言している。																16	
41			【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	BCPマニュアルを作成している。									9		11		13 13.1			16	
42			【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	継続的な、採用、人材教育を行っている。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
社員の家庭で使用された使用済みインクカートリッジを回収し近隣の小学校へ提供する。	インクカートリッジはベルマークポイントになる。学校教育への寄与と回収しリユースされることにより廃棄物の削減に繋がる。				4.1 4.2 4.3								12.2					17.17
年1回、弊社廃棄物が処理される最終処分場の視察を行う。	植物残差が不法投棄されていないか、たい肥化されているか、事業許可は更新されており法令が遵守されているかを確認する。												12.2					

【記載留意事項】
・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
　また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
　（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）